

議会だより

第81号

発行 安曇野市議会
令和8年(2026年)
2月19日

- ・ 特集 第6期新体制…………… 2
- ・ 議員紹介…………… 4
- ・ 12月定例会の報告…………… 5
- ・ 会派代表質問&一般質問…………… 11
- ・ 市長に政策提言…………… 22
- ・ 議会だよりモニター募集…………… 23
- ・ 市民の声…………… 24



第6期がスタートしました
22名の顔ぶれです

が決まりました!

(令和7年10月29日第一回臨時会時点)

過日執行された市議会議員選挙を経て、安曇野市議会は新しいメンバーとなりました。それに伴い、委員会構成も変わりました。ここでは2ページにわたり、新たな委員会構成（3つの常任委員会、議会運営委員会、議会広報特別委員会、議会改革推進委員会、安曇野市議会 ICT 活用に関する研究会）をご紹介します。

副議長 中村 今朝子

副議長として、議長を補佐していくことはもちろんのこと、新しい安曇野市議会が、市民の皆さまから、少しでも身近に感じていただけるよう、様々な取り組みに挑戦していきたいと思っています。



議長 増田 望三郎

生き方、考え方、政治信条の異なる22人がそれぞれの多様性を発揮し、その中から本質を見出す議会を築いていきたいと思っています。議決機関である議会の責任を果たし、政策提言機能を磨いて行政との「善政競争」を進め、市民に身近で信頼される議会を目指し、安曇野のより良い今と未来に向けて、力を尽くしてまいります。

議会運営委員会

◎…委員長 ○…副委員長

地方自治法および委員会条例の規定に基づき設置され、本会議の進行、および日程調整と議会規則にかかわる協議や、請願・陳情の調整を行い、複雑化する議会運営の円滑化を図ります。

(後列) 田口 貞夫 / 内川 集雄 / 臼井 泰彦 / 林 孝彦 / 矢澤 毅彦
(前列) 平林 明 / ◎大竹 啓正 / ○辻谷 洋一



議会改革推進委員会

議会広報特別委員会



(後列) 臼井 泰彦 / 一志 信一郎 / 遠藤 武文
大竹 啓正 / 林 孝彦 / 小林 浩
(前列) 平林 明 / ◎辻谷 洋一 / ○吉澤 茉帆 / 内川 集雄

市民に親しみやすく分かりやすい議会を目指し、議会報告会や議員の勉強会、市民との交流を通じて、議会改革を協議・推進しています。



(後列) 高橋 健 / 菊池 久美子 / 木船 潤一
今井 美智子 / 野部 知江 / 田口 貞夫
(前列) 中村 芳朗 / ○増井 裕壽 / ◎矢澤 毅彦 / 丸山 健太

定例会ごとの議会活動を、市民にわかりやすく伝えるための委員会です。広報紙「議会だより」の内容や構成を検討し、読みやすく親しみのある紙面づくりを目指して、編集と発行を行っています。

新しい正副議長&常任委員会メンバー

総務環境委員会



行政運営や財政、まちづくり、防災・危機管理、税や選挙、市民生活、環境など、市政の根幹こんかんに関わる幅広い分野を所管しています。議案審査や行政事務の調査を通じて、安心して暮らせるまちづくりを支える委員会です。

(後列) 中村 今朝子 / 木船 潤一 / 臼井 泰彦 / 田口 貞夫
(前列) 平林 明 / ◎矢澤 毅彦 / ○内川 集雄

福祉教育委員会

福祉部・保健医療部・教育部の三部門を所管し調査するとともに、議案等を専門的に審査する部門とされています。市民の皆さんにとりましても、極めて身近な事案の審査をしています。

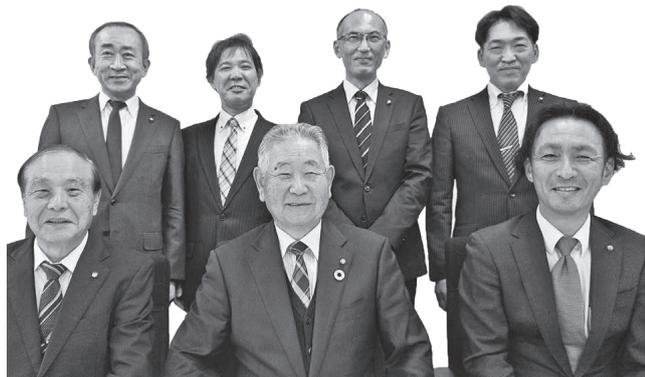
(後列) 今井 美智子 / 菊池 久美子 / 野部 知江 / 吉澤 茉帆
(前列) 丸山 健太 / ◎大竹 啓正 / ○増井 裕壽



経済建設委員会

農林部・都市建設部・商工観光スポーツ部・上下水道部を所管し、産業や観光の振興、都市計画・道路河川など公共施設の保守点検うながを促し、市民に安心安全な生活環境を整え、更なる発展を後押ししていきます。

(後列) 林 孝彦 / 遠藤 武文 / 高橋 健 / 小林 浩
(前列) 一志 信一郎 / ◎中村 芳朗 / ○辻谷 洋一



安曇野市議会ICT活用に関する研究会

安曇野市議会では、ICTを活用した議会運営の効率化に取り組んでいます。議長諮問しもんでもあるオンライン会議や、情報発信なども検討していきます。

◎丸山 健太 / ○矢澤 毅彦 / 小林 浩 / 田口 貞夫 / 増井 裕壽 / 中村 今朝子

新体制！安曇野市議会



詳細はこちら
(市議会 HP)

左上から右下にかけて議席番号順 →



丸山 健太 / 1期
まるやま けんた
①無
②明科中川手 5819-1
③ 090-2020-6216

令和7年10月12日の選挙で第6期安曇野市議会議員が選出されました。前回選挙の時より平均年齢は2歳以上若くなり、新人からベテランまでみな張り切っています。見かけたら気軽に声をかけください。

※所属常任委員会および特別委員会については2、3ページをご覧ください。ここに掲載の情報は令和7年12月1日現在のものです。

氏名 / 期数
①所属党派
()は所属政党
②住所
③電話番号
④その他



小林 浩 / 1期
こばやし ひろし
①無
②豊科 2144-2
③ 75-6579



菊池 久美子 / 1期
きくち くみこ
①無 (日本共産党)
②穂高有明 7944-3
③ 83-7221



田口 貞夫 / 1期
たぐち さだお
①無
②穂高有明 7141-1
③ 83-2424



高橋 健 / 1期
たかはし けん
①無
②豊科田沢 6478
③ 73-4773



今井 美智子 / 1期
いまい みちこ
①無 (日本維新の会)
②豊科南穂高 5107
③ 080-9063-9659



木船 潤一 / 1期
きぶね じゅんいち
①無 (参政党)
②豊科高家 127
③ 72-1585



野部 知江 / 1期
のべ ちえ
①無 (公明党)
②堀金烏川 3496-10
③ 090-1869-2825



吉澤 茉帆 / 1期
よしざわ まほ
①無
②穂高 1049-9
③ 75-9240
④都市計画審議会委員



遠藤 武文 / 2期
えんどう たけふみ
①無
②穂高有明 1827-6
③ 83-2589
④監査委員



矢澤 毅彦 / 2期
やざわ たけひこ
①無
②豊科 5184-4
③ 090-9357-0802



中村 芳朗 / 2期
なかむら よしろう
①無
②三郷温 2045-2
③ 77-3800
④都市計画審議会委員



大竹 啓正 / 2期
おおたけ ひろまさ
①無
②堀金三田 1393-8
③ 73-2214



辻谷 洋一 / 2期
つじたに よういち
①無
②穂高 4507-1
③ 87-6874
④都市計画審議会委員



増井 裕壽 / 2期
ますい ゆうじゅ
①会派アツミライ
②穂高北穂高 2293-1
③ 090-5562-1009



白井 泰彦 / 3期
うすい やすひこ
①無 (日本共産党)
②堀金三田 1160-5
③ 73-4465



一志 信一郎 / 4期
いっし しんいちろう
①会派アツミライ
②堀金三田 486-1
③ 72-3228



平林 明 / 4期
ひらばやし あきら
①無
②穂高柏原 3040-口
③ 82-4574



林 孝彦 / 4期
はやし たかひこ
①無
②豊科南穂高 533-7
③ 73-2629



内川 集雄 / 5期
うちかわ しゅうお
①会派アツミライ
(国民民主党)
②豊科光 1887-1
③ 71-2231



中村 今朝子 / 4期
なかむら けさこ
①無 (公明党)
②穂高柏原 1821
③ 82-6456
④副議長



増田 望三郎 / 4期
ますだ ぼうざぶろう
①無
②三郷小倉 4073-2
③ 77-6118
④議長

 報告事項

報告番号	件名	結果
28号	地方自治法第180条の規定による専決処分報告について（公用車事故に関する事）	受理

 総務・政策・財政・環境

議案番号	件名	結果
100号	地方自治法の改正に伴う関係条例の整理に関する条例	原案可決
108号	令和7年度安曇野市一般会計補正予算（第4号）6.8.9	
113号	令和7年度安曇野市立中学校電子黒板等購入に係る売買契約について	
114号	令和4年度（明許線越）三郷小学校長寿命化改良工事建築主体工事変更請負契約について	
115号	令和4年度（明許線越）三郷小学校長寿命化改良工事電気設備工事変更請負契約について	
136号	安曇野市特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	
137号	安曇野市一般職の職員の給与に関する条例及び安曇野市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	
138号	安曇野市会計年度任用職員の給料等及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	
139号	令和7年度安曇野市一般会計補正予算（第5号）6.21	
143号	令和6年度（債務負担行為）三郷堆肥センター解体工事変更請負契約について	

 健康・福祉・教育

議案番号	件名	結果
104号	安曇野市郷土資料館条例の一部を改正する条例	原案可決
105号	児童福祉法等の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	
106号	安曇野市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	
107号	安曇野市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	
109号	令和7年度安曇野市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	
110号	令和7年度安曇野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	
111号	令和7年度安曇野市介護保険特別会計補正予算（第3号）	
122号	公の施設の指定管理者の指定について（安曇野市豊科社会就労センター）	
123号	公の施設の指定管理者の指定について（安曇野市穂高社会就労センター）	
124号	公の施設の指定管理者の指定について（安曇野市三郷社会就労センター）	
125号	公の施設の指定管理者の指定について（安曇野市明科社会就労センター）	
126号	公の施設の指定管理者の指定について（安曇野市堀金総合福祉センター（老人福祉センター）及び安曇野市堀金保健センター）	
127号	公の施設の指定管理者の指定について（安曇野市明科総合福祉センター（福祉センター・陶芸作業所）及び安曇野市明科保健センター）	
140号	令和7年度安曇野市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	
141号	令和7年度安曇野市介護保険特別会計補正予算（第4号）	

 産業・経済・観光・水道

議案番号	件名	結果
101号	安曇野市体育施設条例の一部を改正する条例 10	採択
102号	安曇野市の適正な土地利用に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
103号	安曇野市都市計画法第33条第3項の規定に基づく開発行為に係る制限の強化・緩和に関する条例	
112号	令和7年度安曇野市水道事業会計補正予算（第2号）	
116号	安曇野市・松本市山林組合の解散等に関する協議について	
117号	安曇野市土地利用基本計画の変更について	
118号	地区土地利用計画の策定について（三郷一日市場東村地区関係）	
119号	地区土地利用計画の策定について（北穂高産業団地関係）	
120号	市道の廃止について	
121号	市道の認定について	
128号	公の施設の指定管理者の指定について（安曇野市三郷やすらぎ空間施設）	
129号	公の施設の指定管理者の指定について（安曇野市長峰山森林体験交流センター）	
130号	公の施設の指定管理者の指定について（安曇野市かじかの里公園）	
131号	公の施設の指定管理者の指定について（安曇野市豊科安曇野の里自然活用村 プラザ安曇野）	
132号	公の施設の指定管理者の指定について（安曇野市三郷農林漁業体験実習館及び安曇野市三郷室山研修施設）	
133号	公の施設の指定管理者の指定について（安曇野市豊科安曇野の里自然活用村）	
134号	公の施設の指定管理者の指定について（ほりでーゆ〜四季の郷及び周辺施設）	
135号	公の施設の指定管理者の指定について（安曇野市マウンテンバイクコース等）	
142号	令和7年度安曇野市水道事業会計補正予算（第3号）	

 請願・陳情

請願・陳情番号	件名	結果
陳情8号	診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める陳情書 6.9.21	採択
陳情9号	豊科地区ホテル建設計画に関する十分な説明と住民意見の反映を求める陳情書 6.10.21	不採択
陳情10号	「消費税減税を求める意見書」の提出を求める陳情書 7.8.21	採択
陳情11号	私立高等学校に対する公費助成をお願いする陳情書 9	採択
陳情12号	穂高地区における高層ホテル建設計画に関する陳情書 7.10.21	不採択

 議員提出議案

提出番号	件名	結果
8号	診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める意見書 7.21	原案可決
9号	消費税減税を求める意見書 7.21	採択
10号	東京電力柏崎刈羽原発6、7号機の再稼働の見直しと近隣県民の意思の確認を求める意見書 6.7.21	否決

 人事

議案番号	件名	結果
144号	安曇野市等公平委員会委員の選任について 7	同意

令和7年11月27日から12月19日まで開催され、報告1件、議案45件、陳情5件、議員提出議案3件を審議しました。主な議案と討論をご紹介します。



～令和7年度一般会計補正予算の主な内容～

議案第108号 令和7年度安曇野市一般会計補正予算(第4号)

障がい福祉サービス費および障がい児通所支援費の増額
三郷・堀金児童館遊戯室空調設置工事費の計上等

補正総額：8億8,900万円

補正額：3億7,908万円

補正額：3,413万円

議案第139号 令和7年度安曇野市一般会計補正予算(第5号)

物価高対応給付金支給事業補助金を活用した子育て世帯への給付金
令和8年1月18日施行の安曇野市長選挙に係る経費の計上

補正総額：5億5,400万円

補正額：3億37万円

補正額：6,885万円

議案第139号
安曇野市一般会計補正予算(第5号)

可決

反対の意見

白井泰彦

賛成の意見

小林 浩

マイナンバー制度は、徴税強化や給付削減、情報の企業開放、プライバシー侵害の懸念がある。

マイナンバー保有率が8割を超え更新期を迎える中、職員負担軽減と人件費削減、住民サービス維持のため必要。

反対の意見

白井泰彦

賛成の意見

中村今朝子

マイナンバー制度は個人情報侵害と監視強化を招き、廃止すべき制度である。

国制度への対応で全額補助対象となり、更新増加への職員負担軽減に資する。

陳情第8号
診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める陳情書

採択

反対の意見

辻谷洋一
矢澤毅彦

賛成の意見

林 孝彦
増井裕壽
白井泰彦

一律10%引き上げや全額公費負担は根拠や定義が不明確であり、財源の裏付けも乏しく、社会保障制度の持続性を損なう恐れがある。

物価高と賃金格差により医療・介護人材の流出が深刻化しており、地域医療を維持するためには国の責任による10%以上の報酬引き上げが不可欠である。

反対の意見

中村今朝子
内川集雄

賛成の意見

木船潤一

安全性確認と地元同意が進む中で今意見書を出す合理性はなく、地元判断を尊重すべきである。

原発事故の影響は広域におよぶため、立地県に限らず近隣県民の意思確認が必要である。

議員提出第10号
東京電力柏崎刈羽原発6、7号機の再稼働の見直しと近隣県民の意思の確認を求める意見書

不採択

反対の意見

中村今朝子
吉澤茉帆

賛成の意見

林 孝彦

当該計画は法令を順守して進められており、行政が追加指導を行う根拠はなく、開発済の準工業用地のため行政指導は困難で、議会関与は公平性を欠く。

法的根拠がなくても、市を通して業者へ丁寧にお願いでいく過程があってもいい。できるだけ地域住民と折り合っていたことが望ましい。



総務環境委員会における討論
(12/19)

議案第139号
安曇野市一般会計補正予算(第5号)

可決



師走議会🍷これが、新議会・初“白熱”討論 議論して、議論して、議論して、議論してまいります！

陳情第10号
「消費税減税を求める意見書」の
提出を求める陳情書

採択

反対の意見

大竹啓正
辻谷洋一
野部知江

消費税は社会保障を支える重要財源であり、代替財源が示されない減税は将来世代への負担を増大させ、制度の安定性を損なう。

賛成の意見

増井裕壽
林 孝彦
白井泰彦
内川集雄

消費税は逆進性が強く、物価により生活が圧迫される中、減税は市民生活を直接支える有効な対策であり、国に判断を求める意義は大きい。



陳情第12号
穂高地区における高層ホテル
建設計画に関する陳情書

不採択

反対の意見

大竹啓正
矢澤毅彦
小林 浩

既に法的手続きは完了しており、特定事業への議会関与は公平性を損ない、行政運営に混乱を招く恐れがある。

賛成の意見

増井裕壽
林 孝彦
白井泰彦
吉澤茉帆

景観や地下水は市民共有の財産であり、将来への影響を考慮すれば、事業者による再説明や市を通じた慎重な対応を求めることは妥当である。



議員提出第8号
診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス
等報酬10%以上の引き上げを求める意見書

採択

反対の意見

辻谷洋一

一律引き上げは現場の実態に合致せず、全額公費負担も現実的ではなく、財源確保の議論が不十分である。

賛成の意見

林 孝彦

政府の責任による医療や介護、福祉事業の安定的な維持発展と、すべてのケア労働者の処遇改善が必要だと考える。

議員提出第9号
消費税減税を求める意見書

採択

反対の意見

野部知江
大竹啓正

減税の恩恵は偏在しやすく、社会保障や地方財政への影響が大きい。ため、慎重な検討が求められる。

賛成の意見

林 孝彦

多くの市民、国民が物価高で苦しんでいて、消費税減税を望んでいる。特に、所得の低い人には大変。市民、国民の暮らしを守ることが必要。

議員提出第10号
東京電力柏崎刈羽原発6、7号機の再稼働の
見直しと近隣住民の意思の確認を求める意見書

不採択

反対の意見

辻谷洋一
増井裕壽
野部知江
矢澤毅彦
内川集雄

再稼働判断は国と立地自治体の権限であり、市議会の意見書提出は適切でない。

賛成の意見

吉澤茉帆
遠藤武文
木船潤一

原発事故は広域被害をおよぼすため、近隣住民を含めた安全説明と意思確認が必要である。

人事案件について

議案第144号 公平委員の選任について 笠井 明氏、宮井 麻由子氏、金井 恒人氏に同意しました。
選挙管理委員および補充員の選挙
選挙管理委員 赤羽 篤氏、三枝 光徳氏、曾山 慶一氏、丸山 律子氏
補充員 藤澤 量美氏、米倉 剛氏、犬養 繁氏、水谷 一郎氏らが当選しました。



常任委員会の録画配信は、各委員会ページに掲載の二次元コードからご覧いただけます→



総務環境

総務環境委員会では、議案6件、陳情1件、議員提出議案1件を審査しました。

議案名や本会議での議決結果等→

5・7・21
ページ

議案第108号

令和7年度一般会計
補正予算
(総務環境委員会所管事項)



消防施設費の穂高地域統合詰所事業

問 第9分団第1部、第3部の統合における既存施設と土地はどうなるのか。

答 アスベスト調査後に解体し、両施設とも借用地のため所有者に返還する。

問 新しい詰所用地はどこになるのか。

答 穂高消防署の南側、町尻公園付近を予定している。



第9分団第1部



第9分団第3部

穂高墓地公園合葬墓建設に伴う駐車場増設

問 穂高墓地公園の駐車場を拡張する位置と許容台数はどのくらい確保されるか。

答 必要となる駐車場面積を確保のため、新たに墓地北側の烏川河川敷付近に駐車場50台を増設する。河川法第五十五条による河川許可が必要となるため、周辺

問

地籍測量による地籍測量図委託料の増額が必要となる。

答 新しくできる合葬墓の容量は。

問

個別埋葬と共同埋葬があり、現在の800体収納から1200体とし、400体を増やす計画となっている。



現在の穂高墓地公園の様子

ふるさと寄附サイト使用料

問 ポータルサイト使用料が1200万円とあるが、その理由は。

答 寄附は全国から集まるが、その受け付けはポータルサイト経由がほとんど。経由に伴い手数料として10%程度が必要経費としてかかる。

陳情第10号

「消費税減税を求める意見書」の提出を求める陳情書



トピック



第6期 総務環境委員会新メンバーによる審査風景

賛成の意見

内川 集雄 木船 潤一
白井 泰彦

下げる方向で5%が妥当、逆進性を重視、物価高に対し消費税減税の意見が多い。

反対の意見

中村 今朝子 平林 明
田口 貞夫

社会保障の財源確保が必要、全体の消費税減税は反対、消費税に代わる財政面の確保が必要。

陳情概要

ここ数年の物価上昇は驚くばかりだ。日本の軽減税率は8%である一方、欧州等では食料品が非課税の国もある。国の2024年の所得状況調査では、300万円未満の生活者が35・5%あり、勤労所得と個人住民税は比率で上昇することは明瞭だが、消費税については逆進性(所得に関わらず一律課される負担割合)がはっきり表れている。生活困窮者だけでなく、物価高に苦しんでいる多くの国民、市民の助けになるよう消費税減税を求める。

12月19日討論については、6ページ参照



常任委員会の録画配信は、各委員会ページに掲載の二次元コードからご覧いただけます→



福祉教育

議案第108号

令和7年度一般会計
補正予算
(福祉教育委員会所管事項)

全員賛成
採択
すべきものと決定

子ども相談員について

子ども相談員、作業療法士等の時間外増額の要因は？

会計年度任用職員の時給外勤務手当が増加した主な要因は、学校へ出向き、先生方と児童に関する打ち合わせを、学校側の業務外時間に対応して行う機会が増えたため。

部活動の地域移行について

現在、市が負担している指導者への謝金について、将来的な保護者負担移行を見据え、指導者確保と保護者の負担軽減のバランスをどう考えるか。

地域クラブの将来的な保護者負担額について、令和7年度中にスポーツ庁・文化庁が具体的な方針を示す予定。その国の金額や、地域の実証結果に基づき、必要な経費や指導者謝金を見定め、最終的な負担方法を検討する。

穂高地域福祉センターの水漏れについて

389万円を指定管理料で上乗せとあつたがこれは漏水分ということか。

福祉教育委員会では、議案17件、陳情2件を審査しました。

令和6年度から令和7年6月にかけて漏水量が増加した。これに対応するため、増額分を指定管理料として補助するもの。

陳情第8号
診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める陳情書
全員賛成
採択
すべきものと決定

陳情概要

医療・介護・福祉報酬を1年前倒しで各10%以上引き上げ、2025年度中に全額公費で賃上げ支援を実施する国への意見書提出を求める。報酬引き上げを「10%以上」と設定した理由は。

医療・介護労働者の目標賃上げ(3万円〜5万円/人)を恒久的に保障するためには、2024年のベースアップ評価料(約2.3%)では不十分。そのため、診療報酬を全体として10%以上引き上げる必要がある。さらに、患者負担増を防ぎつつ賃上げを実現するため、医療機関の非課税による仕入れ消費税や公共料金に対して、国が直接公費支援を行うことを求める。



議案名や本会議での議決結果等 ↓ 5・6・21

陳情第11号

私立高等学校に対する公費助成をお願いする陳情書

全員賛成
採択
すべきものと決定

陳情概要

私立高校の経常費・教育施設補助金の継続増額と、募集・広報活動への支援・協力を求める。執行部側への質疑

「私学の自由」や「自己負担が原則」という意見もあるが、公費支援を求めることに対し、そうした客観的な声や懸念にはどのように応えるのか。

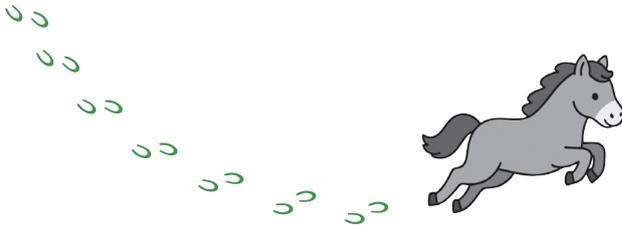
高校生の進路選択は、私立・公立問わず生徒自身の希望によるものであり、行政が立ち入るべきではない。行政としては、小中学校段階で学力を向上させ、生徒の進学の道を狭めないよう努めることが役割だと考える。

トピック

安曇野市リビングウィル(事前指示書)ができました!



もしもの時のために自分の希望する医療やケアについて、書面(リビングウィル)に明記することができます。状況に応じて随時見直すことが大切です。ご家族や大切な人に思いを伝え共有しておくことが大事です。



常任委員会の録画配信は、各委員会ページに掲載の二次元コードからご覧いただけます→



経済建設

経済建設委員会では、議案21件、陳情2件を審査しました。

議案名や本会議での議決結果等 ↓ 5/7/21

議案第101号

安曇野市体育施設条例の一部を改正する条例

賛成多数 可決

マウンテンバイクコースの使用料引上げについて

問

指定管理者から、利用料金を改定してほしい旨の話があったのか。

答

施設の利用促進を図るため、開設当初から低額な料金設定をしていた。そのため利用者が増えれば増えるほど、マウンテンバイクの修理費など維持管理経費が高み、収支が赤字になってしまいう状況にある。そこで、収支改善を目的に受益者負担をお願いするもの。

反対の意見

遠藤 武文

利用料金収入や維持管理経費を、あらかじめ想定した上で、指定管理料を決めているはずだ。したがって、維持管理経費の増加分は、指定管理料の中で賄われるべきだ。

賛成の意見

小林 浩

利用者が増えれば増えるほど、維持管理経費が増加し、収支が赤字となる状況だけは克服すべきである。したがって、使用料引上げに伴う受益者負担は容認すべきだ。

陳情第9号

豊科地区ホテル建設計画に関する十分な説明と住民意見の反映を求める陳情書

賛成少数 不採択

陳情概要

市は事業者に対して、次のことを指導すること。

- ① 再度十分な時間を確保した説明会の開催
- ② 住民の声を踏まえた誠実な対応
- ③ 交通、騒音、景観などの課題について、住民との協議を継続的に行う場の設定

反対の意見

辻谷 洋一 小林 浩
高橋 健

市が事業者に指導を行うための根拠が、法律や条例になく、願意の実現が困難である。

賛成の意見

林 孝彦

法的根拠に乏しいことは承知しているが、業者にもう少し丁寧をお願いしていくといい。建設は、地域の皆さんとよい関係を維持し、折り合ってほしい。願意を最大限受け止めたい。

陳情第12号

穂高地区における高層ホテル建設計画に関する陳情書

賛成少数 不採択

陳情概要

市は事業者に対して、次のことを求めること。

- ① 地域住民が十分に理解し、不安を解消できるよう、丁寧で具体的な説明を行うこと。

トピック

安曇野市・松本市山林組合の解散について

山林管理と茸山の貸付を主な事業としてきましたが、近年は松くい虫の影響で山林が荒廃するとともに、夏場の高温によって松茸の収穫量が激減し、事業の継続が困難となりました。そこで、国・県の補助金等を活用しながら、山林を計画的かつ効率的に管理するため、本年3月末をもって組合を解散し、安曇野市が市有林として管理することになりました。



反対の意見

林 孝彦

業者は、地域の皆さんと良好な関係で、地域の景観と環境を守りながらのビジネスを望んでいると思う。法令を尊重した上で、市を通じて業者にもお願いしてもらうプロセスをまだ持っていないともいえる。できる限りの努力を望む。

賛成の意見

一志 信一郎 遠藤 武文
小林 浩 高橋 健

② 地下水条例の理念に基づき、地下水・湧水への影響を適切に評価する調査を行うこと。
③ 景観審議会に対し、本計画を再度審議対象とすること。

市政のごまごが聴きたい!!

○ 会派代表質問 (11ページ)
○ 一般質問 (12〜20ページ)

市民生活支援と
交付金活用について



会派 アヅミライ 内川 集雄 一志 信一郎 増井 裕壽
関連質問

問

「高き屋に登りて見れば煙立つ民のかまどはにぎわいにけり」物価高騰が長期化する中で、子育て世帯や事業者、高齢者など多くの市民が生活上の負担増を訴えている。国の交付金制度が創設されてから一定の期間が経つが、市全体でどのような支援が進んでいるか。

代理

国の交付金を活用し、子育て世帯への給食費等の負担軽減、事業者の省エネ設備導入支援、畜産農家の飼料負担軽減などを継続実施している。事業は現在進行中であり、効果検証はこれからだが、物価高騰の影響緩和に一定の役割を果たしている

と考えている。残り期間も、負担の大きい層へ的確に支援が届くよう取り組みを進める。

小説「安曇野」紹介動画の制作進捗と今後の活用について

問

若い世代で小説「安曇野」の認知度が低い中、理解を深める紹介動画を制作している。現在の進捗状況と、完成後の活用方法は。

政策

動画は制作中であり、年度内に完成予定。学校での上映や特設サイト、YouTubeでの公開に加え、図書館や文書館等でも視聴できる環境を整えていく。

観光の通過型から滞在型への転換について

問

安曇野を通過型から滞在型へ転換し、通年で稼げ

代理

る観光産業都市を目指すため、今後どのような方針と体制で推進するのか。地域資源を結び滞在価値を高め、東山エリア活用や文化財の再生と活用、フィルムコミッションの強化を進める。地域資源を活用し、次世代へつなげる持続可能な観光地づくりを目指していく。



白井吉見文学館
常念岳の麓の白井吉見文学館

代表および一般質問通告書の取り下げ等について

以下の議員から市長逝去に伴い12月定例会における代表および一般質問の取り下げがありました。

議員名	タイトル	
大竹 啓正	・公共施設維持管理の在り方について ・域共同体の崩壊を防ぐための仕組みづくりについて	全部
矢澤 毅彦	合併・市政施行20周年 歩みをこれからのまちづくりに生かす	一部
辻谷 洋一	経済対策について	一部
一志 信一郎	・魅力ある安曇野づくりについて (代表質問の関連質問) ・須砂渡トンネルの早期完成を ・後期基本計画の中間の年での、これまでの今年度の進捗状況と各施設効果並びに今後の施策等について	一部
中村 芳朗	市長の2期目の市政(施策)等について	一部

※フィルムコミッション：映画やテレビドラマ、CMなどのロケーションを誘致し、撮影がスムーズに進行するようサポートする組織のこと。

★答弁者の表記★
市長→市長 職務代理者→代理 副市長→副市長 教育長→教育長 危機管理監→危機 総務部長→総務 政策部長→政策 市民生活部長→生活
福祉部長→福祉 保健医療部長→保健 農林部長→農林 都市建設部長→建設 商工観光スポーツ部長→商工 上下水道部長→水道 教育部長→教部



無所属
辻谷 洋一

クマ被害から地域の安全を守る対策強化は



問 熊対策として果樹撤去の費用を支

援する伐採奨励金制度の導入は。

農林 伐採奨励金制度を導入することは

有効。誘因果樹は、ニホンザルにも関連するので、追い払い隊の除去班での対応も考えている。

問 基本的な方針は学習放獣なのか、

あるいは捕獲駆除を含めて、状況に応じて判断されているのか。

農林 状況に応じて判断をしているが、

県の指導で令和8年11月14日まで基本的には駆除の方向で考える。

問 捕獲体制と近年の捕獲の実績は。

農林 猟友会と協議して、出没した熊に対する対策を検討し、実行に移している。また、熊の緊急捕獲に係る業務を猟友会へ委託している。

捕獲の実績は、令和5年度4頭、令和6年度6頭、本年度5頭。

問 緊急銃猟と関係機関合同による現地対応訓練について。

農林 市独自の緊急銃猟マニュアルの作成を進めている。関係機関合同による現地対応訓練は、実際に緊急銃猟を行うためには必要。現在、

緊急銃猟と関係機関合同による現地対応訓練は、実際に緊急銃猟を行うためには必要。現在、



松本地域振興局管内での訓練開催を県に要望をしている。

問 ガバメントハンターの配置は。

農林 猟友会員が市の非常勤公務員として150名が活動をしている。熊

の出没時には猟友会として、熊対策を実行していくことが最善。

問 撃退装置の導入について見解は。

農林 撃退装置の効果、設置場所を検討し、有効であると判断できる場合は、導入を検討したい。

問 共存への中長期的な取り組みは。

代理 捕獲や駆除に依存せず、人里に寄せつけない環境づくりを地域として持続的に取り組むことが重要。



無所属
中村 芳朗

子ども・子育て支援金制度と国民健康保険



問 令和8年度から始まる「子ども・

子育て支援金制度」は、少子化対策の抜本的な強化にあたり、少

子化対策に受益を有する全世帯・全

経済主体が子育て世帯を支える新しい分かち合い・連帯の仕組みとして、医療保険の保険料と併せて

拠出することのこと。この制度と、

市の国民健康保険の今後の予定について伺う。

保健 市の国民健康保険でも従来の医療

保険分・後期高齢者支援分・介護保険分に加え、令和8年度から、

子ども・子育て支援金分の課税を行い、納付金として県に納めることになる。今後国から示される内容に基づき準備をする。安曇野市国民健康保険運営協議会にて協議をいただき、3月の議会定例会に

条例改正の提出を考えている。

問 子ども・子育て支援金制度の新たな課税制度が始まるが、以前の議会一般質問の答弁で、保健医療部

長は「国保税率について財源不足による改定は、平成21年度以降税

率を上げていない、基金を取り崩して運営してきた。」と答弁。基金も令和6年度末で2億8千万円余りの残高で、平成30年度と比較し、5億円近く減少している。国保税率の見直しが必要になるのか伺う。

率を上げていない、基金を取り崩して運営してきた。」と答弁。基金も令和6年度末で2億8千万円余りの残高で、平成30年度と比較し、5億円近く減少している。国保税率の見直しが必要になるのか伺う。

最近では、医療の高度化等により、一人当たりの医療費が上昇している状況などもあり、厳しい運営が予想される。安定した事業運営を行うためには、国保税率の見直しも視野に入れ、安曇野市国民健康保険運営協議会の中で協議していただく必要があると考える。

最近では、医療の高度化等により、一人当たりの医療費が上昇している状況などもあり、厳しい運営が予想される。安定した事業運営を行うためには、国保税率の見直しも視野に入れ、安曇野市国民健康保険運営協議会の中で協議していただく必要があると考える。

最近では、医療の高度化等により、一人当たりの医療費が上昇している状況などもあり、厳しい運営が予想される。安定した事業運営を行うためには、国保税率の見直しも視野に入れ、安曇野市国民健康保険運営協議会の中で協議していただく必要があると考える。

最近では、医療の高度化等により、一人当たりの医療費が上昇している状況などもあり、厳しい運営が予想される。安定した事業運営を行うためには、国保税率の見直しも視野に入れ、安曇野市国民健康保険運営協議会の中で協議していただく必要があると考える。

最近では、医療の高度化等により、一人当たりの医療費が上昇している状況などもあり、厳しい運営が予想される。安定した事業運営を行うためには、国保税率の見直しも視野に入れ、安曇野市国民健康保険運営協議会の中で協議していただく必要があると考える。





無所属 林 孝彦

児童生徒等のいじめ・不登校・自殺対策は



問 対策の目標と取り組みは。

代理 施策や日々の支援を継続推進する。

教長 笑顔で生活できる園・学校に努力。

問 児童生徒いじめ実態把握と対策を。

教部 からかうような言動や暴言が最も多い。予防的な支援や指導を行う。

問 児童生徒不登校実態把握と対策を。

教部 教員・友人との関係性、学習への不安からの苦しさが多い。自主的な選択ができるよう支援している。

問 児童生徒自殺実態把握と対策を。

教部 相談しやすい環境を作り、子どもたちと教職員の意識作りに努める。

フマ、サル、シカ、イノシシ、ハクビシン、カワウ等有害鳥獣対策

問 有害鳥獣対策の目標と取り組みは。

代理 農作物被害軽減と安全確保が目標。

農林 侵入防止対策、環境整備が方針。

問 フマ出没マップ等のフマ対策を。

農林 県のアプリを活用してほしい。緊急銃猟は体制作りを進めている。

問 ニホンザルの追い払い等の対策を。

農林 緩衝帯整備を実施している。駆除は計画的かつ慎重に対応している。

問 他の有害鳥獣対策を。

農林 捕獲に対し補助金を支出している。

明科の東部アウトドア拠点整備

問 拠点等の整備の目標と取り組みは。

代理 機運の醸成を図り魅力を発信する。

政策 アイデアを民間業者から聞き取る。サウンディング調査の結果を踏まえ、年度内に方向性を決定予定。

選挙投票率低下現象への対応策は

問 対応策の目標と取り組みは。

選管 商業施設等での期日前投票所設置も考えているが、人材確保が課題。

総務 選挙事務は選管の所管。特にない。



東部アウトドア拠点整備予定の龍門瀨公園一帯



会派 アヅミライ 一志 信一郎

須砂渡トンネルの早期完成を



問 令和9年度より工事着手する計画の現在までの進捗状況について。

建設 令和7年度は、保安林の解除手続きを進めている。来年度は保安林の解除後に用地補償の契約を行い、契約完了後、工事着手する予定。

問 住民説明会等の地域住民への進捗状況はどうか。

建設 岩原区を対象に地元説明会を開催し、道路の線形やトンネルの断面構成などについて説明が行われた。説明会では、有害鳥獣対策で設置している電気柵の移設等についての質問が主なもので、事業に反対する意見は特になく、事業は予定どおり進捗している。

問 掘削等に伴う道路拡幅改良等の地権者への進捗状況について。

建設 令和7年度は買収面積を提示。岩原山神社の用地も一部買収が必要となる。県が、神社庁協議の手続きを行っている。令和8年度、契約を行う予定。

問 トンネル掘削に伴う残土処理用地工事車両等の待避所等について。

建設 残土の仮置き場を募集したところ、3か所の申し出があった。岩原山神社の北側に、資機材の設置スペースとし借地をする予定。

建設 須砂渡渓谷の山岳観光・自然体験・スポーツ推進のため、利用者の駐車場等、土地利用施策について。

建設 須砂渡渓谷の観光、スポーツ振興に係る駐車場整備は、所管部署と連携し、協議する。トンネル工事による残土の発生と、駐車場整備工事のタイミングが合えば、残土の活用も検討し、安曇野建設事務所と調整を行う。

建設 須砂渡トンネル出入口工事予定付近



須砂渡トンネル出入口工事予定付近

※各議員の二次元コードから質問の動画にリンクできます。ぜひご利用ください。(スマートフォン等でのご利用には通信料がかかります。)



無所属 高橋 健

田沢駅前広場の整備について



問 安曇野市のまちづくりにおいて、田沢駅はどのような位置づけであるのか。

建設 都市計画マスタープランでは、交通の結節点として、機能強化を図る駅と位置づけている。

問 駅前広場の現状は次のとおりだ。

①部活動の高校生など、夕方以降も利用する学生が多いにも関わらず、駅前広場を十分に照らす街灯がなく、夜間の安全対策が喫緊の課題となっている。

②夕方の帰宅時間帯・列車到着時には、学生や通勤者がまとまって駅から出てくる一方、送迎車両が入れ替わり立ち替わりで停車するため、歩道がない駅前広場で、人と車が入り混じる状況が発生する。

③駅前交差点で信号待ちをする車列の間を、歩行者がすり抜ける形となり、接触事故のリスクがある。こうした現状を、市は把握しているのか。

建設 現状を把握しており、いくつかの課題があると認識している。

問 過去に駅前広場の整備を検討した経過はあるか。

建設 具体的な検討を行った経過はない。

問 駅前広場は、安曇野市バスの発着場であるとともに、豊科・大口沢区の小学生が利用する、スクールバスの乗降場でもある。公共交通の利用促進や、通学路の安全対策を図るといふ観点からみても、駅前広場の整備を、計画的かつ確実に進めたいか。

建設 駅利用者の安全性向上を目的とした駅前広場について、整備の方向性の検討を進めていきたい。



JR 篠ノ井線田沢駅の駅前広場



無所属 田口 貞夫

市民の足を支える公共交通の活性化へ再構築



問 毎日約9万人が市内を歩き交いし通勤、通学など朝夕の移動で、現在のあづみん・のるーとが運行していない朝5時から8時台と夕方を主として、短距離少量運行の定時路線バスが主要駅ごとを中心

に巡回し、鉄道利用を促進させる。家族送迎の軽減や車通勤の交通渋滞緩和に寄与する。特に移動の多いモデル地区を選出し、朝夕の運行を試行することはどうか。

政策 現時点では、新たに鉄道の駅を起点としてのコミュニティバスの運行は予定していないが、引き続き必要な移動手段および最適な交通ネットワークの在り方について短距離少量輸送も含め研究する。

問 安曇野市は、一人一台で通勤するなど車移動率が、85・5%となっており、車社会から脱皮するべく通勤、通学の鉄道利用を促進し、駅前の活性化にもつながるJRと連携した利用促進クーポンの発行により、駅前商店やサービス業などへ人の流れを新たに作り、にぎ

わいが取り戻せるものと考えている。

政策 車社会から脱皮への選択肢の一つとして、鉄道利用者に対し駅前商店街等で利用するクーポンを配布する施策は、鉄道利用者地域経済の活性化の両面に意義がある。

問 電気自動車や自動運転の導入と、自動運転路線計画や経済効果は。

政策 電気自動車への移行は、充電スポットも考慮し、運行事業者の意向も踏まえ今後検討する。自動運転は本格導入できる段階ではないが、新技術導入の可能性を閉ざすことなく安曇野市の実情への適正を研究する。



ご家族など駅前送迎車で混雑状況

※各議員の二次元コードから質問の動画にリンクできます。ぜひご利用ください。(スマートフォン等でのご利用には通信料がかかります。)

※ライドシェア：交通空白地の解消を目的として、自治体や非営利団体が主体となり、自家用車（白ナンバー）で有償運送をするもの。



無所属
今井 美智子

交通弱者対策について



問 あずみん・のーとの混雑対策として、ライドシェアを補完的に活用する考えはあるか。

政策 制度として日本版ライドシェアや公共ライドシェアがある。公共ライドシェアは一般ドライバーの参入が可能で、供給不足の解消に寄与する可能性がある。一方、本市のデマンド交通と機能が近く、並走すると利用者に分かりにくい点が懸念される。補完活用には運行範囲や時間帯、料金のすみ分けが必要だが、現時点では明確化が難しく、ドライバー確保など課題も多い。全国の導入実態や運行上の課題、既存交通との兼ね合いを踏まえ研究を進める。

乗務員確保

問 運転手不足に対し、市が育成や確保を支援できないか。

政策 市の直接雇用は運行の専門性や人事体制の面から難しい。他の自治体の事例や財政負担のあり方を踏まえながら事業者と連携し、支援

高齢者向け配食サービスについて

制度の研究をする。

問 民間業者が提供する配食見守りサービスについて補助はできないか。

福祉 補助制度の導入は考えていない。お弁当を注文できないほど生活が苦しいようであれば、自立支援のサポートをするので福祉課あるいは社会福祉協議会にご相談をいただきたい。

【その他の質問事項】

○本市におけるオーバートゥリズムについて



ライドシェアの推進を



無所属
遠藤 武文

こども誰でも通園制度をどのように実施するのか



問 誰でも通園の利用人数をどの程度と試算しているのか。

教部 一時預かり事業の実利用人数から、1日当たり2名半程度と試算。

問 一時預かりとは制度が全く違う。だが、すみ分けが困難。一時預かりの代替手段として利用するのをご断るのか。

教部 制度上別々だが、両方の利用を希望した場合、条件が合えば両方を利用できる。

問 1園だけで市内のニーズに応えられるのか。

教部 複数園に専任の保育士を配置することが難しい。月45名程度の利用ならば、1園で対応可能。

問 一時預かりとは利用料金が大きく異なる。どう理解を得るのか。

教部 保護者からの問い合わせがあった場合には丁寧な説明をする。

問 月10時間の上限には批判が多い。

教部 月10時間であっても適正な保育を実施する。

問 配置基準が緩いことも、この制度が批判にさらされる所以だが。



誰でも通園制度の実効性は市に委ねられる

教部 0歳児は国基準の3対1。1歳児は国基準を上回る3対1。2歳については国基準と同等の6対1。

問 医療的ケアが必要な子どもや障がいのある子どもに対する居宅訪問を実施する体制は。

教部 健康支援課等、関係課と連携を図り状況を把握した上で検討する。

問 子ども子育て支援金は健康保険料に上乘せされて徴収される。条例改正すべき。

保健 国民健康保険条例案を3月議会に上程する。後期高齢者医療保険の負担額は、長野県後期高齢者医療広域連合で決定する。



無所属 菊池 久美子

民生児童委員の公募制を どう考えるか



問 地域住民の身近な相談相手であり、支援を必要とする住民と行政や専門機関をつなぐパイプ役である民生児童委員は、全国的に担い手の確保が難しくなっているが安曇野市ではどうか。

提供の方法や機会は、妊娠届出時に体調を伺いながら面談し、多くの書類や情報などをまとめたファイルをお渡しして支援全体の説明を行っている。気軽に相談してほしいとも伝えている。

保健

妊娠届出時に体調を伺いながら面談し、多くの書類や情報などをまとめたファイルをお渡しして支援全体の説明を行っている。気軽に相談してほしいとも伝えている。

福祉

定数は216人、現在4人の欠員がある。担い手不足解消のため、負担軽減の取り組みや、福祉委員手当の額を含めた処遇改善を引き続き検討していく。

問 民生児童委員の公募制を導入している近隣自治体もあるが、現段階での市の考えは。

福祉

民生児童委員は、地域から信頼された人物であることが大前提。公募制でそれを担保するには、一定の審査や地元での客観的評価が重要。公募制の導入については、先進自治体の取り組みを参考として研究を進めていく。

妊娠前から育児期の親への支援サポートについて

問 市からの支援サポート全体の情報



産後を心おだやかに過ごせますように

「あづみの自然保育」について

問 若い世代への移住・定住促進策の一つとして「あづみの自然保育」をブランド化しているが、市民の認知は。

SNSでの情報発信やイベントでのPRなどの感触は良く、市民の認知や理解も年々広がっている。

教部

SNSでの情報発信やイベントでのPRなどの感触は良く、市民の認知や理解も年々広がっている。



無所属 臼井 泰彦

デマンド交通あづみんの 利便性向上を



問 朝夕1時間の運行時間延長による年間利用者数と経費の増加予想は。

政策 利用者は9120人、経費は約2500万円となる見込み。

問 時間延長の朝の7時台、8時台の便を、利用者増に対応して定時定路線にしてはどうか。

政策 起点や経路をどこにするか難しい。

問 運行時間延長による高校生の利用増のために、子ども料金100円を高校生まで延長してはどうか。

政策 運賃を減額するのではなく、デマンド交通の利便性向上に努めたい。

問 高齢者の料金を100円として、免許返納を促し、利用者増につなげてはどうか。

政策 現在経費の8割を市が負担。利用者増で市の持ち出しは更に増える。

問 直線距離で10km以内は乗り継いでも同一料金として、乗り継ぎによる負担軽減を図ってはどうか。

政策 料金体系の変更は、財源の確保など、慎重に判断する必要がある。

問 デマンド交通と定時定路線を地域インフラと位置づけ、担い手不足

の対策の一環として、運転手の賃上げ直接支援を検討してはどうか。

代理 賃上げの直接支援は、他自治体の事例も参考に研究していく。

国保税の引き上げはすべきでない

問 国民健康保険特別会計の基金残高を見ると、来年度の国保税の引上げは不要ではないか。

保健 国民健康保険運営協議会の中で協議していただく必要があると考え

- 「その他の質問事項」
- 給食費の無償化
- 中小企業の賃上げ直接支援

群馬県と連携市町の中小企業賃上げ支援

	賃上げ/時	県の支援	最大支援人数	1事業所当たり限度額	申請締め切り
群馬県	3%以上 5%以上 *1月以上 の実績。 1年間継続	3万円/人 5万円/人	20人 40人	60万円 200万円 *上限に達するまで何度でも	26年1月31日
太田市	3%以上 5%以上	県に追加 2万円/人	20人 40人	+40万円 +80万円	
渋川市	3%以上	1万円/人	20人	+40万円	
玉村町		1万円/人	20人	+20万円	
大泉町		1万円/人	40人	+40万円	
藤林市	5%以上 2%以上	1万円/人 2万円/人	合計 20人 以内	*5%以上を優先	

全国に広がる中小企業の賃上げ直接支援

※各議員の二次元コードから質問の動画にリンクできます。ぜひご利用ください。(スマートフォン等でのご利用には通信料がかかります。)

★答弁者の表記★
市長→市長 職務代理者→代理 副市長→副市長 教育長→教育長 危機管理監→危機 総務部長→総務 政策部長→政策 市民生活部長→生活
福祉部長→福祉 保健医療部長→保健 農林部長→農林 都市建設部長→建設 商工観光スポーツ部長→商工 上下水道部長→水道 教育部長→教部



無所属
木船 潤一

部活動の地域展開を いったん停止できないか



問 国に指示権を付与した地方自治法改正から約1年半が経過したが、地方に画一的に政策をおろして国と地方自治体との関係はもはや対等とは言えないのではないか。

国と地方自治体はそれぞれが固有の役割と権限を担う対等の関係とされているが、一方で国の制度改正や新たな政策の追加が自治体の負担増となり、様々な課題が出てくることもある。そのような場合は市長会を通して意見や要望を国に伝えている。

代理

国と地方自治体はそれぞれが固有の役割と権限を担う対等の関係とされているが、一方で国の制度改正や新たな政策の追加が自治体の負担増となり、様々な課題が出てくることもある。そのような場合は市長会を通して意見や要望を国に伝えている。

問

豊科南小の放課後児童クラブの建物確保の見通しはどうか。

教部

校舎南側の旧バス車庫付近に設置ができる可能性があり、令和8年度中に建設に着手できるように見込んでいる。

問 教員の負担が大きくなってきた背景についてどう見るか。

教長

近年は、児童生徒が抱える課題や取り巻く環境が複雑になっており、個別の対応や各家庭との連携も必要。社会の変化も速く、ICT機器を活用した教育活動等新たな学びの環境づくりに忙しい。

問

部活動の地域展開は教員の負担軽減策として合理的とは限らないのでいったん推進を停止して様子を見てはどうか。



平日も含め完全展開が済んだ部活もある。



無所属
吉澤 茉帆

妊娠期から産後の生活や 託児の支援に助成を



問 妊娠中や産後に頼れる親戚等がない場合や、身体的・精神的負担を感じる場合、どのように考え対応すべきか。

令和6年4月から子ども家庭支援課内に安曇野市子ども家庭センターを設置。妊娠前から子育て期の不安や悩みに母子保健担当と児童福祉担当が連携し、一体的に支援・相談を行っている。

教部

令和6年4月から子ども家庭支援課内に安曇野市子ども家庭センターを設置。妊娠前から子育て期の不安や悩みに母子保健担当と児童福祉担当が連携し、一体的に支援・相談を行っている。

問 入園や一時預かりに代わる託児としてファミリーサポートで1日8時間を定期的に依頼してよいのか。

教部

積極的な受入れは想定していない。あくまでもボランティア活動として協力会員の皆さんに無理のない範囲で行っていただいている。

問 託児が利用しやすいよう案内強化や手続の利便性を高める支援は可能か。利用費助成を行う考えは。

教部

出産、乳児期の子育て家庭の大変さは認識しており、サービスの事務手続きが利用者に寄り添ったものになるよう見直したい。入園できなかつた場合の費用や、上の子

問 家事支援について、社協のしあわせ・あづみんや民間の家事代行等の情報提供の支援は可能か。利用費の助成を行う考えは。

子ども家庭センターで必要な方へ家事支援の事業所等の一覧を配付。その他可能なものは積極的に情報提供を行いたい。利用費の助成は財源の検討も踏まえ、可能性を研究する。

教部

子ども家庭センターで必要な方へ家事支援の事業所等の一覧を配付。その他可能なものは積極的に情報提供を行いたい。利用費の助成は財源の検討も踏まえ、可能性を研究する。



子育てのスタートに生活の支援を



無所属 丸山 健太

地域包括支援体制の充実について



問 最期まで自分らしく住み続けられる地域であるためには、官民協働で地域資源を開発し、多様な支え手が必要。地域包括支援体制充実に向けて、課題解決の実例は。

福祉 高齢者個人の生活課題を医療・介護関係者、民生児童委員、住民で解決方法を検討し、安心して暮らせるよう地域ケア会議を実施している。集約された課題は、地域包括ケア推進会議で協議し資源開発につなげている。実例として、民間企業と地域見守り活動に関する連携協定の事業化があり、現在36団体と協定を締結している。

問 単身、高齢者世帯、認知症高齢者が増加する中、社会参加を主体的に進め、世代を超えた地域づくりを行う生活支援体制整備事業の現状と課題は。

福祉 日常生活圏域ごとに生活支援コーディネーターを配置し、穂高地域では、介護事業所の空き車両と民間事業所の空きスペースを活用した送迎付きの通いの場創設の事例

がある。一方で、支え手として加えられる人材不足が課題。

問 支え合い事業体制整備補助金の活用状況、高齢者が担い手として活動する場の状況は。

福祉 地区公民館を拠点にした健康麻雀、熱中症予防のエアコン設置、段差解消等、社会参加しやすい環境調整を行っている。要介護高齢者が講師として野沢菜漬け教室を行った事例があり、要介護状態であっても支え手として活躍できる仕組みを、生活支援コーディネーターによる地域づくりを通じて、今後も広げていく。



※生活支援コーディネーター……高齢者が安心して暮らし続けられるよう、地域住民、ボランティア、NPO、民間企業、専門職などと連携し、ゴミ出し、買い物、移動支援などを解決する仕組みづくりを推進する人材。



会派 アヅミライ 増井 裕壽

自転車観光のブランド化について



問 市整備のA・B・Cサイクリングコースは距離が長く、調査でも短距離を望む声が多い。自転車利用の促進は、自転車保有しているが、ふだん乗らない人にどうやって乗ってもらえるかがポイントだ。

建設 当該箇所については地域から要望が出されており、公安委員会に設置を求めてきたが、条件が合致せず設置の回答が得られていない。しかし地域の強い要望があるため、市としても引き続き横断歩道設置を働きかけていく。調査や改善の必要性を踏まえ、安全確保に向けた関係機関との連携を継続する。

商工 既設3コースは21〜32キロと長く、初心者には難度が高いとの調査結果があり、既存の半分程度の距離を望む意見が多かった。今後は既存コースを生かしながら、利用者が気軽に楽しめる新たなコース設定について協議し、検討を進めていく。

県道316号梓橋田沢停車場線の横断歩道について

問 県道316号のコンビニ北側に横断歩道がなく、通学児童や住民が危険に晒されている。交通量も多



白き道 まだ無き場所に 子の声を



無所属
矢澤 毅彦

一時預かり事業の改善について



※サブスク（サブスクリプション）：月単位または年単位で定期的に料金を支払い利用するコンテンツやサービスのこと。

問 お昼寝布団やおむつなど、レンタルやサブスクなどの仕組みを導入することはできないか。また、ある園ではミルク用のお湯を水筒に入れて持参してほしいと求められた一方、別の園ではそのような依頼はないと聞く。事業を実施する全園共通で、運用の統一と負担軽減を図ることはできないか。

教部 在園児と比べ、園の利用日数が少ない一時預かり事業を利用している保護者においては、持ち物を負担に感じていることは認識している。負担軽減のため各種サービスを導入した場合には、物品管理法や費用負担などを検討する必要がある。このため、保護者と園の双方から希望を聞くなどして、引き続き研究していく。また、一部の園において持参を依頼しているミルク用のお湯については、園にあるポット等に対応するというように改善していく。

問 利用料金の支払いについては、窓口での支払いに限られている。

キャッシュレス決済導入に向けた課題も含めて市の考えを伺う。

教部 現在、キャッシュレス決済については、市の会計担当部署が検討を進めている状況。今後導入段階となれば、合わせて実施していけるように進めていく。

〔その他の質問事項〕

- 市制施行（合併）20年の総括を
- ダメごみ問題の進捗と今後
- 子ども誰でも通園制度について



追悼 安曇野市長 太田 寛さん

生前の太田寛市長が大事にした飛耳長目（ひじちょうもく）という言葉のとおり、卓越した情報収集力と深い洞察、的確な判断力を備えた稀有なリーダーでした。突然その存在を失ったことは、議会としても哀惜の念に堪えられません。市長が安曇野に注がれた志を受け継ぎ、市民に資する議会にしていきたいと思います。

安曇野市議会 一同



全議案のうち賛否が分かれた議案等

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 除：除斥 退：退席 議：議長

議案等 番号	議員名 議案名	議決日	議決 結果	議席番号																					
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
陳情 第8号	診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める陳情書	12/19	採 択	丸山健太	小林浩	菊池久美子	田口貞夫	高橋健	今井美智子	木船潤一	野部知江	吉澤茉帆	遠藤武文	矢澤毅彦	中村芳朗	大竹啓正	辻谷洋一	増井裕壽	臼井泰彦	一志信一郎	平林明	林孝彦	内川集雄	中村今朝子	増田望三郎
陳情 第9号	豊科地区ホテル建設計画に関する十分な説明と住民意見の反映を求める陳情書	12/19	不採択																						
陳情 第10号	「消費税減税を求める意見書」の提出を求める陳情書	12/19	採 択																						
陳情 第12号	穂高地区における高層ホテル建設計画に関する陳情書	12/19	不採択																						
議員提出 第8号	診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める意見書	12/19	原案 可決																						
議員提出 第9号	消費税減税を求める意見書	12/19	原案 可決																						
議案 第139号	令和7年度安曇野市一般会計補正予算(第5号)	12/19	原案 可決																						
議員提出 第10号	東京電力柏崎刈羽原発6、7号機の再稼働の見直しと近隣県民の意思の確認を求める意見書	12/19	否 決																						

令和7年 第1回臨時会

10月臨時会の結果です



報告事項

報告 番号	件 名	結果
27号	地方自治法第180条の規定による専決処分の報告について(令和7年6月21日発生に関する事故)	受理

人事

議案 番号	件 名	結果
99号	監査委員の選任について	同意

人事案件について

議案第99号 監査委員の選任につき、^{うちかわ ひろふみ}内川 博文氏、^{のもと ひろゆき}野本 博之氏、^{えんどう たけふみ}遠藤 武文氏(議会)に同意しました。

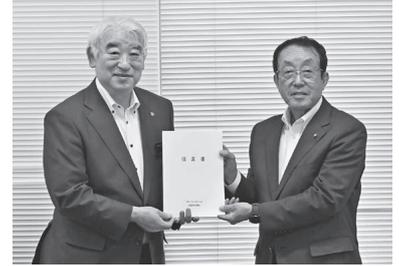
※賛否の分かれた議案はありませんでした。

議会から市長に政策提言

市議会では、3つの常任委員会がそれぞれ本市の課題をテーマに選定し、1年～2年をかけて調査・研究を重ねました。各委員会でまとめた政策提言案を全議員による政策討論会に諮り、「政策提言」にまとめ、令和7年9月18日に市長へ提出しました。

※政策提言は第5期安曇野市議会議員任期中のものです。

提言書はこちら→



9月18日の手交式にて

提言1 防犯カメラなどの防犯対策と安全安心なまちづくりについて

総務環境委員会



- (1) 防犯カメラの設置に関しては、必要性・有効性と、個人情報保護・プライバシー保護とのバランスを十分に考慮する必要があるので、市はアンケート調査や意見公募などを通じて、市民の意見を十分に聴くこと。そして、本市の実情にも鑑み、司法関係者などの有識者を含む検討委員会などで慎重に検討すること。
- (2) 市民の安全安心を確保するために、安曇野市防犯灯設置要綱を見直し、電柱がなくて暗い場所や暗い通学路などに、防犯灯を必要に応じて計画的に増設すること。
- (3) 安全安心なまちづくりに関する意識を高めていくために、市民への防犯カメラや防犯灯などの防犯対策の周知啓発をさらに進めること。

提言2 子どもの権利の理念を推進する具体的施策に関する提言

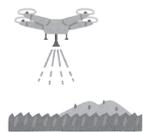
福祉教育委員会



- (1) 子どもの権利について、条例で規定する子どもの権利の日を中心に、講演会などを通じて、市民へ周知・啓発の取り組みを行うこと。子ども向けと大人向けのリーフレットを作成し、周知・活用すること。
- (2) 子ども向けの相談窓口の周知徹底及び機能強化を図るとともに、子どもの権利侵害に関する救済機関の設置を早急に検討すること。
- (3) 子どもが主体的に自分の考えを述べることができるよう、意見形成や政策づくり、学校及び地域活動等に積極的に関わられるよう支援すること。子どもまちづくり委員会等の子どもや若者が主体となる場を構築すること。
- (4) 市民や各種団体と連携して、子どもたちが自然体験、伝統文化・芸術、スポーツ、ICTなどの活動を通じて多様な価値観に触れ、学べる機会を提供・支援すること。

提言3 持続可能な安曇野の農業を目指して

経済建設委員会



- (1) 安曇野の田園風景を守るため、異業種法人も含めて農業への参入を推進すること。農業法人や個人で就農する希望者の移住定住促進住宅（空き家対策）の拡充や農業バイトマッチングを整備し、段階的な農業参入を後押し、若手農業者の経営力向上を目指す若手リーダー育成塾等を設け、人材育成をすること。それらの高みを目指し、地域農業の中核を担うJA等の組織と連携を密にして実効性のある支援をすること。
- (2) 担い手の減少や高齢化による担い手不足の解消に向けた、農業メンター制度の導入や支援農業ガイドブックを作成し、継承者・新規就農者に周知すること。
- (3) スマート農業の推進やインフラ農業施設（農道・水路等）の整備を推進し補助金制度の充実を図ること。
- (4) 付加価値の高い有機農業、伝統野菜等のブランド化に向け、産学連携に取り組むこと。
- (5) 農業交流人口の拡大拡充、子どもたちに地域農業に触れる体験的な学習機会の充実を図った食育と農業者を結び付けた制度を体系的に導入すること。

議会だよりモニター 大募集!!

募集要項

活動内容 ・議会だよりについての意見
 ・議会だよりに関するアンケート等に回答
 ・モニター座談会への参加

定員 20人以内

対象 市内に住所を有する中学生以上（令和8年4月1日時点）の人

任期 令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

申し込み 3月5日（木）までに申込書を持参、郵送、ファックス、電子メールにより、議会事務局へ提出してください。
 申込書は議会事務局窓口・議会ホームページから入手できます。

申し込み先 安曇野市議会事務局

住所：〒399-8281 安曇野市豊科 6000 番地 電話：0263-71-2156

ファックス：0263-71-2150 E-mail:gikai@city.azumino.nagano.jp

※議会だよりモニターには報酬等はありません。

※ご意見は紙面づくりに使用し、匿名で公表させていただく場合があります。

議会だよりの紙面づくりに
あなたの声を!!
 ご応募お待ちしております



議会だよりモニター HP

政務活動費収支報告

令和7年度 政務活動費の実績内訳表（4月～10月）

（単位：円）

会派名	所属議員数	交付額	決算額	支出内容				返金額
				調査研究	研修	資料作成 資料購入	広報広聴等	
日本共産党 安曇野市議団	3	210,000	210,000		18,630	4,800	186,570	0
会派 あづみ野	4	280,000	32,400			32,400		247,600
会派 さきがけ	4	280,000	28,740	26,340		2,400		251,260
会派 きぼう	3	210,000	201,845			5,940	195,905	8,155
会派 クレール	3	210,000	188,103	115,173	44,120	28,810		21,897
小林 純子	1	70,000	70,000	280	4,000	14,215	51,505	0
増田 望三郎	1	70,000	70,000			700	69,300	0
合計	19人	1,330,000	801,088	141,793	66,750	89,265	503,280	528,912

- ・政務活動費は議員の調査研究や研修等のために必要な経費の一部として、会派または個人に対し、議員1人あたり年額12万円が交付されます。
- ・令和7年度は議員改選により、任期満了の10月まで1人あたり7万円（7か月分）が交付され、令和7年10月22日の任期終了時で清算しました。
- ・表中の「広報広聴等」には、会議、要請・陳情活動等に要した費用が含まれています。
- ・政務活動費の収支報告書および領収書等については、議会ホームページで公表しています。
 また、議会事務局でも閲覧できます。



議会ホームページへ

市民の The Voice 声



やまもと こうじ
山本 耕司さん
(明科)

「心から楽しいと思えること」は何か？

これは 転職活動を行う際に、自己分析の一環として真剣に考えたことの一つだ。

思い浮かんだのは明科に引っ越してから始めたニュースポーツのワンバウンドふらばーを打ち合う競技で、相手から返ってきたボールをワンバウンドさせてからレシーブします。変形したボールのためワンバウンドしたボールがどこに飛ぶかわからないという面白さがあり、比較的ラリーも長く続く色々な年代の方が一緒に楽しめるスポーツです。

どうして

楽しいと思えるのかと深く考えてみたところ、夢中で気がつかず、自分の感情を素直に出しているからとわかりました。

私は普段、比較的まわりの目を気にする方で、行動や言動に注意しながら過ごしていることが多いです。これは自分の特徴ですが、そうしている間は「楽」な気持ちではなく、そればかりが続くと精神的な疲れをためてし

まっのかもしれない。

プレー

している時は仲間とボールをつながって笑って、誰の目も気にせず素直な自分でいられます。自分が頑張ったトスを仲間が決めた時なんてもう最高に楽しいです！自分の感情、喜怒哀楽の「楽」を真剣に考えたことで、この時間は自分にとってとても大切な時間であるということに気づきました。

秋の

市議会議員選挙では多くの新人の方が当選されました。議員になられたからはおそらく「楽」な気持ちではない時間が大半を占めているのではないのでしょうか。時には自分にとって「楽」を感じることができている時間を作っていたら、安曇野市のために奮闘していただけならと思います。



ワンバウンドふらばーのバレー競技の様子

議会からのお知らせ

公職選挙法に基づき、議員の寄附の禁止を徹底します

地域行事、祭りなどへの寄附や差し入れ、開店祝いや葬儀の花輪、病氣見舞い(親族以外)、中元、歳暮、入学・卒業祝い、代理出席の場合の結婚祝い・香典など、議員が寄附をすることは禁止です。

『寄附 しない、させない、求めない』

市議会3月定例会のお知らせ(予定)

議会を聴きに行こう！議会を「あづみ野テレビ」・議会ホームページ「インターネット中継」で見よう！

傍聴希望の方は、市議会議場(市役所本庁舎3階)へお越しください。お子さまと一緒に傍聴いただけます。

日	月	火	水	木	金	土
2/8	9	10 議会運営委員会	11 (建国記念の日)	12 全員協議会	13	14
15	16	17	18 本会議(開会日)	19	20 本会議(常任委員会・補正裁決)	21
22	23 (天皇誕生日)	24 全員協議会(予算説明)	25 全員協議会(予算説明)	26	27	28
3/1	2	3	4 本会議(一般質問)	5 本会議(一般質問)	6 本会議(一般質問)	7
8	9 本会議(質疑・委員会付託)	10 常任委員会(総務環境)	11 常任委員会(福祉教育)	12 常任委員会(経済建設)	13	14
15	16	17 議会運営委員会・全員協議会	18	19 本会議(閉会日)		

請願・陳情は随時受け付けています。定例会ごとの締め切りは、開会日の原則10日前です。開会時間は本会議10:00～、常任委員会・全員協議会(予算説明)は9:00～です。日程や開会時間など変更となる場合があります。

すくませ！議会だより

安曇野市議会第6期最初の『議会だより』をお届けします。

今期、議会広報特別委員会の委員長を務めることになりました。よろしく申し上げます。

今期は、正副委員長以外は初めて広報委員を務めるフレッシュな顔ぶれで、編集にあたります。

市民のみなさまに議会活動が分かりやすく伝わるよう、記事の構成や写真の選定に至るまで、委員一同で真剣に議論し、もっと伝わりやすく、読み応えのある紙面を目指し、これからも工夫と試行錯誤を重ねていきます。

全国各地の広報誌が読めるアプリ『マチイロ』でもお気軽に。安曇野市議会を少しでも身近に感じていただけたら幸いです。

マチイロ 議会広報特別委員会 委員長
矢澤 毅彦

マチを好きになるアプリ
議会広報特別委員会

委員長 矢澤毅彦 副委員長 増井裕壽
委員 丸山健太 菊池久美子 田口貞夫 高橋 健
今井美智子 木船潤一 野部知江 中村芳朗